

東北
初公開

記録生活 河内一浩の 考古学者

進化する「野帳」
やちよう

展覧会

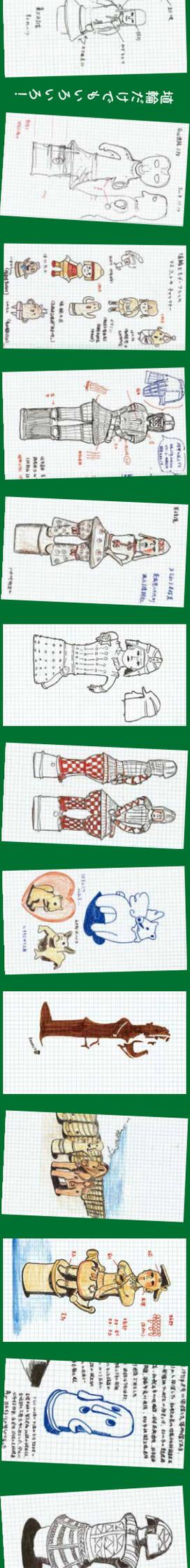


2019年 **2月22日** [金] - **4月29日** [月・祝]
金・土・日・祝のみ開室 / 13時 - 20時 / 入場無料
 主催 せんだいメディアテーク (公財) 仙台市民文化事業団 協賛 コクヨ東北販売株式会社

展示会場

TRAC

Tohoku Research-based Art Center
東北リサーチとアートセンター



進化する「野帳」
考古学者 河内一浩の記録生活

「しらの細道」3

やちょう
野帳

とは、野外調査などの現場で観察記録を残すために用いられるノートのことです。以前は一部の専門家たちの道具でしたが、今では趣味の記録や日々のスケッチ帳などとして使い方が広がり、愛用者は増えつつあります。

考古学者・河内一浩さんはそんな野帳使いのレジェンド的存在です。学生の頃から書きためた野帳は450冊を超え、初期の鉛筆スケッチから3色ペン時代を経て、着彩、点描などさまざまな技法を吸収しながら現在も進化中。考古資料はもちろんのこと、訪問先の食事や作ってみたいグッズのデザイン、私生活まで何でも書き込んでしまう河内さんのめくるめく野帳世界をお楽しみください。東北初公開です。

河内一浩(かわち・かずひろ/考古学者) 1961年大阪生まれ。現在、羽曳野市職員(世界文化遺産推進室)。小学生から考古学に興味をもち現在も研究を続けている。野帳は1981年から使い始め、2018年12月現在でNo.455を数える。記憶のための記録の中身は自分史でもある。



「しらの細道」とは? 研究や事業の準備段階とされる「しらべること」自体の魅力に着目する伊達伸明が、自己表現に帰着しないさまざまな活動の中から、過程や記録方法、蓄積などの魅力を紹介するシリーズ。長い時間をピンポイントな世界に捧げた調査・研究名人の眼差しと情熱を通して、街の今を見つめるヒントをさぐります。

企画制作 伊達伸明(だて・のぶあき) 1964年兵庫県生まれ。美術家。取り壊される建物から生活痕の残る材料を用いてウクレレを制作し、元の住人に手渡す「建築物ウクレレ化保存計画」を主宰。仙台では2012～2015年に「亜炭香古学」を実施。

野帳のおはなし+いっしょにスケッチ

野帳の魅力についてのお話と、地底の森ミュージアムで展示物をスケッチ。

参加者に
「野帳」
プレゼント!

※当日は事業記録のため映像・写真撮影を行います

- ゲスト** 河内一浩 聞き手 伊達伸明(「しらの細道」企画制作)
- 日時** 2019年3月10日(日) 10:00—12:00
- 会場** 地底の森ミュージアム(地下鉄南北線長町南駅下車徒歩5分)
- 参加料** 入館料(一般460円、高校生230円、中学生110円/豊齢手帳等減免あり)
- 定員** 20名/中学生以上
- 申込方法** 2月25日(月)必着。はがき、FAX、メールで受付。催し名(野帳)・氏名・住所・電話番号を記入して申込み。応募多数の場合、抽選。当落通知は3月初旬に送付。

申込先・お問合せ

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室

所在地 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
TEL 022-713-4483
FAX 022-713-4482
メール trac.event55@gmail.com

主催 せんだいメディアテーク
((公財) 仙台市市民文化事業団)
協賛 コクヨ東北販売株式会社



art node



展示会場

**TRAC | Tohoku Research-based Art Center
東北リサーチとアートセンター**

所在地 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-22第五菊水ビル3階
TEL・FAX 022-397-7256(会期中の金土日祝 13:00～20:00)

展示についてのお問合せ
せんだいメディアテーク企画・活動支援室(022-713-4483)

http://trac.smt.jp
最寄り駅 地下鉄東西線「大町西公園駅」東1出口(徒歩1分)

